

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	水野 伸子	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

先行文献から、研究の大まかな手順・論文作成方法を理解する。自らの興味関心や社会の現状からの問題意識、文献レビュー、および授業内での発表や意見交流を通して研究の方向性を決定する。これら一連の活動を通して、将来、社会人として求められる論理的な思考力や文章力、仲間と協働する対人関係能力を養う。提出された課題は添削しコメントをつけて返し、授業での授業者による講評及び学生間の意見交流等を経て課題の理解を深める。

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	各自が研究を進めるなかで、課題に対しディスカッションやグループワークを用い、必要に応じてフィールドワークを行う。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	本授業の意義の理解と個々の課題の設定	本授業の意義を理解し、個々の課題を設定する	<input type="checkbox"/>
第2回	論文とレポートの違い	論文とレポートや作文や感想文との違いを明確に理解し、論文の形式から研究を捉える	<input type="checkbox"/>
第3回	先行文献の検討：結果と考察の記述	先行文献の検討から結果と考察の記述の仕方を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第4回	先行文献の検討：結果と考察の検討	先行文献の検討から結果と考察を検討し意見交流する	<input type="checkbox"/>
第5回	先行文献の検討：結論の導き方	先行文献の検討から結論の導き方を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第6回	先行文献の検討：結論の検討	先行文献の検討から結論を検討し意見交流する	<input type="checkbox"/>
第7回	観察法・フィールドノーツの書き方	フィールドワーク (1) 調査方法・観察法・フィールドノーツの書き方を理解する	<input type="checkbox"/>
第8回	フィールドワーク：現地調査	フィールドワーク (2) 現地調査を行う	<input type="checkbox"/>
第9回	フィールドワーク：結果の交流	フィールドワーク (3) 結果を交流する	<input type="checkbox"/>
第10回	研究テーマの設定：研究動機	各自の研究テーマの設定 (1) 研究動機を問い直す	<input type="checkbox"/>
第11回	研究テーマの設定：問題の所在	各自の研究テーマの設定 (2) 問題の所在を明らかにする	<input type="checkbox"/>
第12回	研究テーマの設定：同一分野の先行文献調査	各自の研究テーマの設定 (3) 研究の方向性を決定し、同一分野での先行文献調査を行う	<input type="checkbox"/>
第13回	各自の研究テーマの設定：研究テーマの決定	各自の研究テーマの設定 (4) 研究テーマの決定	<input type="checkbox"/>
第14回	論文構成	論文構成を考え図で表す	<input type="checkbox"/>
第15回	研究テーマ・論文構成・序章の記述	研究テーマを決定し、論文構成を図示してゼミ内で交流する	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)

・事前学習として、研究目的に沿った先行文献を読み、項目ごとに要約する(2時間程度)。・事後学習として、授業で明らかになった課題を解決するために先行文献を読んだり、文章を推敲したりする(2時間程度)。

■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)

提出されたレポートは添削して返却する。その上で、全体で共有する機会を持つ。

■ 授業の到達目標と評価基準 (Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	自らの興味関心をもとに社会の現状から問題意識を持ち研究課題を立てることができる
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	社会の現状や保育・教育の実態から課題を見だし、その原因を先行文献や調査結果をもとに分析することができる
主体性	◆ 2019子ども発達DP3	先行文献から他者の主張を理解し、自分の考えを修正したり深めたりして記述することができる

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) 授業内課題レポート				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		